

連盟紹介

設立

昭和 45 年 7 月・・・大分県市町村職員年金者連盟(任意団体)
昭和 59 年 4 月・・・社団法人 大分県市町村職員年金者連盟(法人登記)
平成 25 年 4 月・・・一般社団法人 大分県市町村職員年金者連盟(法人登記)

目的

会員相互の親睦
社会保障制度(年金制度)改善の陳情並びに要望活動
会員及び家族の生活安定向上と福利厚生
地域住民福祉の向上及び地方自治の振興に寄与する

設立経緯

大分県市町村職員年金者連盟(以下連盟という)は、市町村職員年金受給者の生活の安定と福祉の向上を資するとともに会員相互の親睦を図ることを目的に昭和 45 年に設立しました。現在、県下 13 支部を設置し、構成員数約 6,000 人の団体に発展しています。

連盟設立の気運は、高齢化社会の到来が予測され、年金制度改正論議が活発化しつつあった昭和 39 年、市町村を退職した年金受給者が自らの手で、経済情勢に即応した生活が維持できる年金制度の改善を求めて立ち上がったことに始まります。

当初は、北海道連盟など 11 連盟で全国連盟が結成され、その後、全国的に年金者連盟の設立や要望が高まり、各都道府県において年金者連盟を設立し、全国連盟の運動主旨・目的に賛同して加盟・・・今日では、47 都道府県の単位連盟が全国市町村職員年金者連盟に加盟し、会員数も約 37 万人となり、一大組織として活動しています。

当連盟は、全国各県において連盟組織が結成されていくなか、市町村役場を退職した OB により結成気運が高まり、当時の共済組合役員会に諮り、役員会も組織結成の必要性を認め設立に立ち上がりました。

設立準備には、大分県市町村職員共済組合の指導援助を受け大分県市町村職員年金者連盟は設立されました。